

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成28年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
 年間 (4月～3月)

施設名	萩野センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	244	265	108.6%	
	延べ利用者数 (人)	4,000	3,081	77.0%	
	自主事業	実施回数 (回)	11	400	3636.4%
		利用者数 (人)	152	2,853	1877.0%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	14,217,000	14,217,000	100.0%
		利用料金収入 (円)	3,400,000	2,696,150	79.3%
		自主事業収入 (円)	3,888,000	1,762,550	45.3%
	収入計 (円)		21,505,000	18,675,700	86.8%
	支出	人件費 (円)	10,274,000	10,621,590	103.4%
		維持管理経費 (円)	7,034,000	5,504,589	78.3%
		自主事業関係経費 (円)	2,861,093	1,264,120	44.2%
		その他の支出 (円)	0	0	0.0%
	支出計 (円)		20,169,093	17,390,299	86.2%
	収支 (収入－支出) (円)		1,335,907	1,285,401	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数はおおむね計画どおりである。通所事業の利用者数は、昨年度に比べ多少減少しているが、自主事業は増加している。今後も引き続き、広報活動、啓発に力を入れ、人数を確保するよう努力する。	【事業の実施状況について】 通所事業においては要介護状態でない方のためのセンターというイメージを大切にし、自立を意識した活動内容を展開した。自主事業は利用者のリピーターも増え、市民のニーズに合った事業を展開している。	【収支状況について】 通所事業の収支は良好である。自主事業においては、センター内の教室紹介の掲示物を見ての申し込み、ロコミ、広報などから知れ渡り、収支は上向き傾向にある。
--	--	---

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 計画より多く開館し、自主事業の利用者数も昨年度より増加しており評価できるが、通所事業は減少している。今後も引き続き啓発・広報活動を行う必要がある。	【事業の実施状況について】 通所事業における自立を意識した活動が展開できている。自主事業についても、ニーズに合わせた活動が実施されており、評価できる。	【収支状況について】 通所事業及び自主事業の収入は昨年度より増加し収支は上向きであるが、引き続き指定管理期間中に収支の改善を図る必要がある。
---	---	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)		確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善

施設・設備の維持管理	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人 人員配置計画、実地、出勤簿	7人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年 研修マニュアル	実施回数12回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

<p>指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）</p> <p>通所事業においては、要支援、要介護認定を受けていない方を対象としたセンターである意識づけをしてもらうため、諸活動の工夫や、利用中の名札や座席指定を廃止し、自分の事は自分で行うようにしていただいたりした結果、センターのイメージを払拭して、新たなご利用者のご利用機会に繋げることが出来ました。自主事業はホームページの立ち上げ、広報、ロコミ、看板など思いつく手段を活用して市民に周知しております。利用者からの意見を取り入れ、実施したことからリピーターが増えました。これからも「センターに自分磨きに行きたい、元気になれる場所」と思っていただけのように努力をしていきたいと思っております。</p>

市による所見（指摘事項など）

利用者の自立への意識を向上させることは、センターの事業の目的となっています。今後も、常に新しい取組を行い、市民サービスの向上や利用者の増加に努めてください。自主事業についても、利用者のニーズに合った事業が実施されており、利用者も増加していますので、引き続き、高齢者のニーズを把握し事業を展開してください。

今後も事業内容等について創意工夫をするとともに、啓発・広報活動を継続し、事業の収支バランスの適正化に努めるようお願いいたします。